

第4期米沢市水道事業中期経営計画 事業実施状況

基本施策		事業名・事業概要		新規 継続	実施予定 時期	平成30年度実施内容
安 全	① 水質管理体系の強化	ア 水安全計画の策定	信頼性(安全性)の高い水道水を供給するため水系ごとに水安全計画を策定します。	新規	H29～R1	水安全計画作成支援ツール簡易版を使用し一部について作成中。
		イ 水質検査計画の策定・公表	毎年度水質検査計画を策定し公表するとともに、水質検査結果も毎月公表します。	継続	H29～	水質検査計画を4月に公表し、水質検査結果を毎月公表した。
	② 良質な水の追求	ア 老朽管更新	老朽化した普通铸铁管を耐震管に布設替えします。	継続	H29～R2	老朽化した普通铸铁管の耐震化を実施した。L=1,593.3m
		イ 鉛製給水管交換	宅地内の鉛製給水管を新しい給水管に交換します。	継続	H29～	通町3、5丁目の一部外を対象とし、232件の交換を行った。
		ウ 貯水槽水道設置者への指導・助言	安全な水が給水されるよう、貯水槽水道の設置者に対し指導・助言を行います。	継続	H29～	広報よねざわ6/15号に管理について掲載し、簡易専用水道検査結果報告に基づき、指導助言を行った。
	③ 自己水源(地下水)の保全	ア 自己水源の点検・整備	非常用水源として、成島及び南原の地下水源の点検・整備を行います。	継続	H29～	動作確認及び水質検査を実施し8月の渇水時には、成島水源を17日間稼働した。
強 靱	④ 管路の計画的更新(耐震化)	ア 重要管路の耐震化	重要管路耐震化計画(米沢市地域防災計画に基づいた、避難所・病院等への重要管路である送水管、配水本管及び配水支管の耐震化計画)に基づき、配水管の耐震化を図ります。	新規	H29～	重要管路の耐震化を実施した。L=1,249.3m(L=1,249.3mは老朽管でもあるため老朽管更新事業で実施。重要管路耐震化事業として実施したのは次年度へ繰越した。)
	⑤ 施設の計画的更新(耐震化)	ア アセットマネジメントの実施	更新需要と財政状況を勘案し、老朽施設(管路を含む。)の計画的な更新を図ります。	継続	H29～	計画的に老朽管の更新を実施した。
		イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定	配水池など水道施設の耐震診断を行い、耐震化計画を策定し、耐震化を図ります。	新規	H29～	舘山配水池及び小野川配水池の簡易診断を実施した。
		ウ 舘山配水池の更新	老朽化した舘山配水池を更新します。(※⑦イ舘山配水区受水施設整備に合わせて更新します。)	新規	R2～3	—
⑥ 応急体制の強化	ア 各種マニュアルの整備(見直し)	水質汚染事故、地震、渇水等に備え、対応マニュアルを随時見直します。	継続	H29～	対応マニュアルの緊急時連絡網等を整備した。渇水対策のマニュアルを見直し、策定した。	

強 靱	⑥ 応急体制の強化	イ マニュアルに沿った訓練の実施	災害時に適切な応急復旧・給水を行うため各種マニュアルに沿った訓練を実施します。	継続	H29～	市防災訓練が台風の影響で中止となり訓練を実施出来なかった。
	⑦ 施設規模の適正化	ア 配水計画の見直し	老朽化した館山浄水場を廃止し県水からの受水を増量することに伴い、配水計画を見直します。	新規	H29	受水一市二町の同意を得るために協議中。
持 続		⑧ 事業経営の効率化	イ 館山配水区受水施設整備	県笹野浄水場から館山配水区への受水施設を整備します。	新規	H29～R3
	ア 民間委託の推進		水道施設運転管理業務や水道料金等収納業務の民間委託を継続するほか、民間委託の対象となる業務の拡大や見直しを行います。	継続	H29～	水道施設運転管理業務や水道料金収納等業務の民間委託を継続して実施した。
	イ 簡易水道事業経営のあり方の検討	独立採算が難しい白布高湯簡易水道事業及び板谷簡易水道事業のあり方を検討します。	新規	H29～	昨年度から引き続き検討中。	
	ウ 広域化の調査・研究	水道事業の広域化について調査研究を行います。	継続	H29～	県が主催する置賜広域連携検討会において、圏域の市町の施設更新及び財政シミュレーションを行った。	
	⑨ 職員研修の充実	ア 各種研修への参加	水道事業における専門的知識や技術の習得のため各種研修会に参加します。	継続	H29～	日本水道協会や公的機関、日本経営協会が主催する研修等に積極的に参加した。
イ 指定給水装置工事事業者の研修の実施		本市指定給水装置工事事業者を対象とした研修会を実施し、レベルアップを図ります。	継続	H29～	平成29年度に実施したことから平成30年度は実施せず、今後は水道法改正に伴い県全体で開催の予定。	
⑩ 水道料金の適正化	ア 適正な水道料金の算定	平成31年度以降の上水道料金について新たな料金算定期間を設定し、事業運営に見合った料金を算定します。	継続	H30	水道事業経営審議会にて適正料金について審議を行い、答申を受け、令和元年10月の消費税率改定に合わせ料金改定を行うこととした。	
	イ 料金体系の検討	現在使用している逡増型料金体系を検証し、今後の水道料金体系について検討します。	新規	H29～	水道事業経営審議会にて審議を行い、新料金体系では旧料金体系より逡増の幅を小さくすることとした。	
⑪ 料金収納率の向上	ア 債権管理の強化	収納率の向上を図るため、債権管理を適切に行います。	継続	H29～	適切な債権管理に努めた。 収納率 H29:95.16%、H30:94.85%	
⑫ お客さまサービスの充実	ア インターネットによる各種手続きの導入	使用開始(開栓)や使用中止(閉栓)などの申し込みをインターネットで行うことができるよう検討し、導入します。	新規	H29～	平成29年12月からEメールによる受付を行っている。(H30実績93件)	

持 続	⑫ お客さまサービスの充実	イ 広報・ホームページによる情報提供	水道事業に係るさまざまな情報を広報よねざわやホームページを活用して積極的に情報の提供を行います。	継続	H29～	水道事業概要(経営ビジョン・決算情報含む)の公開に加え、8月に発生した濁水時の情報展開及び各種手続き方法等の周知を積極的に行った。
		ウ 水道事業独自の広報紙の発行	お客さまに水道事業をより理解していただくため、水道事業独自の広報紙を発行します。	新規	H29～	2月1日に『水道だより』第2号を発行し、水道水ができるまでの仕組みについて情報の発信を行った。
		エ 水道事業経営懇談会の開催	お客さまの意見、要望を事業運営に反映するため、水道事業経営懇談会を開催します。	継続	H29～	懇談会を開催し、事業運営について委員より意見をいただいた。(H30は懇談会委員が運営審議会委員を兼務)
		オ 水道施設見学会の実施	全国水道週間に合わせ、市内水道施設の見学会を実施します。	継続	H29～	6月7日に水道施設めぐりを実施し、「綱木川ダム」「館山浄水場」「田沢浄水場」等の見学を通じ、水道事業に対する市民の理解促進を図った。
		カ イベント出展等によるPR	水道事業のPRのため、市主催のイベントに出展します。	継続	H29～	10月6～7日に開催された『米沢市生涯学習フェスティバル』に出展し、各種展示(水道・ミネラルウォーター比較、水道の仕組み等)を通じ、本市の「安全・安心でおいしい水」をPRすることで水道事業に対する市民の理解促進を図った。
	⑬ 水資源の有効利用	ア 漏水調査	毎年度計画的に配水管、給水管の漏水調査を実施します。	継続	H29～	延長(配水管)170kmの漏水調査を実施した。
		イ 漏水修理	漏水を発見したら迅速に修繕を行います。	継続	H29～	160件の漏水修理を実施した。
	⑭ 環境対策の推進	ア 浄水発生土の有効利用	浄水過程で生じる汚泥(浄水発生土)の有効利用を図ります。	継続	H29～	浄水発生土を再生砕石に流用しリサイクルを行った。
		イ 建設発生土のリサイクル	水道工事における建設発生土のリサイクルに取り組みます。	継続	H29～	建設発生土を埋立地に流用しリサイクルを行った。
		ウ 省エネ行動の実践	事務用品の再生品使用、休憩時間の消灯、室内温度の適正化などに取り組みます。	継続	H29～	事務用品のグリーン購入やこまめな室内温度管理を行うとともに、クールビズに取り組んだ。

## 第4期米沢市水道事業中期経営計画 目標(中期指標)の達成状況

(単位：人、m<sup>3</sup>、百万円)

項目	目標、経営指標	平成29年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
		実績値	目標値	実績値	評価	目標値	目標値	目標値
需要予測	給水人口	81,345	80,749	80,564		80,571	80,394	79,825
	年間配水量	10,191,351	9,849,890	9,881,509		9,805,872	9,709,365	9,614,465
	1日平均配水量	27,922	26,986	27,073		26,792	26,601	26,341
収益的収支	営業収益	1,845	1,824	1,865	○	1,817	1,800	1,787
	営業費用	1,565	1,586	1,564	○	1,586	1,589	1,865
	経常損益	380	331	402	○	326	308	21
	特別損益	0	0	0	○	0	0	0
	当年度純利益	380	331	402	○	326	308	21
資本的収支	収入計	78	72	93	○	1,071	39	38
	支出計	465	703	490	○	1,085	1,498	1,902
	不足する額	387	631	397	○	14	1,459	1,864
	内部留保資金残高	3,446	2,751	3,810	○	3,574	2,846	1,703
設備投資計画	老朽管更新事業	215	208	240	○	209	209	
	館山配水区受水施設整備事業	5	100	0	-	500	900	1,300
	重要施設耐震化事業	77	136	30	×	135	135	344
	配水管布設・布設替事業	20	60	25	○	60	60	60
	污水管布設に伴う水道管移設事業	13	30	16	-	30	30	30
	施設・機器・計器等整備事業	29	38	38	○	38	49	51
	営業設備	1	25	34	○	5	5	5
企業債残高	企業債残高	1,296	1,190	1,190	○	1,083	973	860
中期指標	有収率(%)	82.7	88.0	85.5	×	88.3	88.6	88.9
	総収支比率(%)	123.9	120.5	125.2	○	120.2	119.1	101.1
	営業収支比率(%)	117.9	115.0	119.2	○	114.6	113.3	95.8
	職員給与費対料金収入比率(%)	11.3	11.7	11.3	○	11.8	11.9	12.0
	収納率(%)	95.2	94.4	94.9	○	94.5	94.5	94.5

※評価は平成30年度米沢市公営企業会計決算審査意見書(米沢市監査委員)による

注1 設備投資計画の館山配水区受水施設整備事業の令和元年度以降の数値は、事業が本格化することによる。

注2 館山配水区受水施設整備事業は、受水施設に送水管をひくことについて2市2町に同意を得るのに時間を要したこと等により、本格的事業に入っていないため評価不能。

注3 配水管布設・布設替事業は、宅地造成等の新規事業が無く、道路改良も1本のみだったため、目標値を下回った。

注4 污水管布設に伴う水道管移設事業は、参考値としているもので、評価外とした。

○総収支比率…総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。100%以上が望ましい。

○営業収支比率…営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。

○職員給与費対料金収入比率…料金収入に対する職員給与費の割合。低いのが望ましい。

○収納率…使用された水量に係る料金のうち、実際に収納された料金の割合。高いほどよい。